

令和元年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 2年 ＞

教科	現状分析	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・全教科を通して、話し合い活動を積極的に取り入れたことで、話すこと、聞くことに意欲をもつ児童が増えてきた。 ・話すことが得意でも、聞くことが苦手だったり、聞くことが好きでも、話すことが苦手だったり、話す聞くのどちらかに好みが偏る傾向が見られる。 ・日記や感想など、書くことに抵抗がある児童が多く見られる。表記上の決まりが身に付いていない児童や、習った漢字を使わずに平仮名で文を書く児童への手立てが課題である。 ・書き順が違ったり、送り仮名が違ったりと、漢字を正しく使って文を書くことが苦手な児童への手立てが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方や聞き方の話型を一人一人の児童にしっかりと身に付けさせる。その上で、自分と友達との考えの同じところや違うところ、よいところを探しながら聞くようにさせていく。 ・まずは、友達の話最後まで聞く姿勢を育てていく。ハンドサインを用いて、自分の意見と同じところと違うところを意識させながら聞く習慣を付けさせていく。 ・発表が苦手な児童には、発表する経験をより多く積ませることで、苦手意識を克服させていく。 ・日記や手紙などを定期的に書かせることで文章を書くことに対する苦手意識を少なくしていく。2学期以降は、鍵括弧や句読点の正しい使い方、習った漢字を使って文を書くことに重点を置いて指導する。また、見直しや校正を習慣付け、正しい表記が身に付くようにさせる。 ・習った漢字を使って文書を作れることを評価し、「習得＝使える」ことを認識させていく。学習した漢字の復習に力を入れて定着を目指す。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動に興味をもって取り組み、たくさん発言しようとする児童が多い。 ・図を用いて考えたり、説明をしたりすることが苦手な児童がいる。 ・数直線の目盛りを正確に読むことに課題のある児童がいる。 ・時計を読むことはできるが、時間を計算することに課題のある児童がいる。 ・指定された長さの直線を引くことに課題のある児童がいる。 ・たし算やひき算の筆算の仕方を理解することができた。 ・加法・減法の計算は、9割以上定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いて良さに気付いたりする活動を取り入れる。 ・問題文をていねいに読み取り、自分の考えを表す練習を繰り返し行う。 ・1目盛りがいくつ分なのかを読み取る練習を繰り返し行う。 ・実生活においても時計の読み取り練習を取り入れるようにする。 ・ものさしをしっかりと押さえ、直線を引く練習を繰り返し行う。 ・ドリルタイムなどを活用し繰り返し計算練習を行い、さらなる定着を図る。

<p>生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校探検」では、自分が1年生だったころの経験を思い出しながら、1年生に優しく教えることができた。興味をもって聞いてもらうような分かりやすい説明をすることには課題がある。 ・「町探検」では、意欲的に探検し、公共物や公共施設、自然などに関心をもつことができた。しかし、地域の特徴に気付き、考えをもつことまで学習を深めることに課題がある。 ・「めざせ野さい名人」や「昆虫博士になろう」では、生命の大切さを感じとりながら、変化や成長の様子を意欲的に観察することができた。学習したことを実生活で生かすことには課題がある。 ・気付いたことや分かったことなどを分かりやすく伝える文章を書くことに、苦手意識のある児童への手立てが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じた伝え方を身に付けさせる。事前に準備しておく説明文を短くして、その場で自分で考えながら説明できるようにさせる。 ・体験の振り返りとして、「見付けたよカード」に自分の言葉で気付いたことをまとめさせる。見付ける、他と比べる、例えるなどの学習活動を行う中で、地域の特徴に気付かせていく。 ・継続して観察するものについては、成長の様子に興味をもち続けられるよう、気付いたことを伝え合う機会を定期的に設けていく。 ・体験したことや調べたことなどを、相手に分かりやすく伝える力を育てるために、他者と交流できる活動を多く設定する。また、優れた作品に目を向けさせることで、表現力を育てていく。
<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組み、音楽室でのきまりを守って、落ち着いて学習を進めている。 ・伸びやかに歌うことを楽しんでいる。 ・鍵盤ハーモニカは、5指を用いる曲や運指で腕のポジションを変える曲に取り組み、十分に理解して演奏することが難しい。 ・楽曲の曲想に合わせて体を動かしたり、様子を思い浮かべたことを発表したりしながら、積極的に学習に取り組むことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「声を合わせて」「気持ちをそろえて」演奏する楽しさを味わわせていく。 ・鍵盤ハーモニカは、運指に気を付けて演奏できるよう個別に指導していく。 ・音に対する集中力を身に付けさせるため、音を意識して聴いたり音の質に気付かせたりする場をつくる。 ・安心して伸びやかに表現できる学習環境となるよう、失敗してもよい空間であることを常に伝え、学習の過程を大切にしていく。
<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に意欲的に体全体を使って、活動に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は造形遊びを多く取り入れ、感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくることができるようにする。また、全身の感覚を働かせる活動を通して、表し方を生み出すことにより創造的な技能を育成する。

<p style="text-align: center;">体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動に意欲的に取り組む児童が多い。 ・運動の基本となる動きが十分に経験できていない児童への手立てが課題である。 ・水遊びでは、安全に気を付けて取り組むことができた。 ・よりよい動きを意識し、次に活用していこうとする意識に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように動いたらよいかを具体的に示し、運動の仕方を伝え、繰り返し指導していく。学習カードを活用し、意欲付けをする。 ・休み時間に外に出て遊んだり、クラス遊びをしたりして、積極的に体を動かすように促す。 ・友達同士で動きを見合い、互いのよいところを学び合えるようにする。2学期以降は、グループ学習も積極的に取り入れていく。
<p style="text-align: center;">道 徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちになって考え、気持ちを発表したり、表現したりできる児童が多い。 ・学んだ価値を実生活に活かすことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作化、役割演技、視聴覚的な資料など様々な指導の工夫を取り入れて、さらに児童の興味・感心を高めていく。 ・自己内対話の時間には、実生活における例を取り上げて考えさせ、自分の生活を振り返る時間をとる。